



公益社団法人
滋賀県理学療法士会
ニュース

No.204 (2017-5)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2017.10.1発行

発行者：(公社)滋賀県理学療法士会 本白水 博
〒520-3232
滋賀県湖南市平松519-37

編集者：龍本 隆(公立甲賀病院)
高島 健太(公立甲賀病院)

印刷所：(有)東 呉 竹 堂(ひがし印刷)

滋賀県理学療法学会を終えて

東近江市役所 福祉総合支援課 河島 克彦

7月9日(日)に野洲文化小劇場にて、32回滋賀県理学療法学会を無事に終えることができました。今回は、204名というたくさんの方にご参加をいただき、大盛況の学会となりました。ご参加の皆さん、準備委員会や当日のスタッフ、多くの方々のおかげで素晴らしい学会となったことに感謝します。皆様ありがとうございました。

一般演題では16の演題が報告されました。発表された内容からは、それぞれの職場におけるプロフェッショナルの視点からの問題意識、研究活動への意欲が伺われ、今後の臨床に大いに参考になるものでした。

特別講演では、筑波大学の山田実准教授から「地域包括ケア時代の理学療法」「老年症候群の理学療法」というテーマで、フレイルやサルコペニアの話題を中心に、介護予防事業の有効性について科学的根拠に基づくお話がありました。講義の内容は、トレーニング効果のことだけでなく、内部疾患との関わりや栄養のことにまで及び、最新の知見を得る有意義な講演会であったと思います。また、公開講座では、滋賀県障害者福祉センターの増田圭亮氏より、障害者スポーツの現状や課題について詳しく伝えていただきました。2020年の東京パラリンピックや全国障がい者スポーツ大会の開催が、選手の発掘・育成や当日のサポートなど、我々理学療法士がスポーツ分野へ参加するチャンスであることを皆で学び、共有できたと思います。一方、福祉機器展示のコーナーでは、様々な最新の機器を手にとり体験していただき、技術の進歩と未来の介護環境について、思いを巡らせていただけたのではないのでしょうか。

今回の学会では、「地域包括ケア」と「ヘルスプロモーション」を結びつけたテーマとしました。滋賀県理学療法士会においては、全国的な取り組みの流れに乗って、「介護予防」「地域ケア会議」といった重点活動項目について、各ブロックでの推進活動を展開しています。地域包括ケアシステムの推進に向けて、我々理学療法士にできることは、住民の持つ自助の力、自己資源、地域資源を活かせる専門的な関わりであると思います。そのような意味において、ヘルスプロモーションの考え方は、地域包括ケアを推進していく上でたいへん重要な切り所であると考えられます。個人や地域に内在する力を引き出せるような専門性とは何か。医療と介護・福祉、そして地域の連携の中で、理学療法の専門性をどのように活かして行けるのか。特別講演や公開講座からは、我々理学療法士の将来に向けた行動の糧となるようなことを、たくさん学んでいただけたのではないのでしょうか。今回の学会の内容が、これからの地域包括ケアの推進に向けて、士会員のモチベーションの向上に役立つことを期待します。



特別講演の様子

平成 29 年度第 3 回公益社団法人滋賀県理学療法士会理事会議事録

開催日時：平成 29 年 8 月 10 日 (木) 18 時 10 分～20 時 20 分

開催場所：滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション科控室

出席理事：本白水博、平岩康之、弘部重信、吉田環、柴田健治、川崎浩子、宇於崎孝、堀口幸二、石井隆

出席監事：前川昭次 **現在理事数**：11 名 **監事数**：2 名 **議長**：本白水博

○報告事項

各部・各委員会報告

【事務局】

総務部 (平岩副会長)

- (1) 2017 年 8 月現在会員 949 名 賛助会員 1 社退会
- (2) 全国事務局職員会議 (平岩副会長、川波事務員参加) 報告
 - ・次期システム関連説明
 - ・各事務局の状況報告
 - ・事務員と担当理学療法士のコミュニケーション不足
 - ・発送物を少なくして、郵送費用を節約
 - ・起業理学療法士が事務局を兼務しているケースあり
- (3) 県への年次報告書提出に関して
 - ・公益収入の黒字化に関して説明
 - ・スマホ用 HP の作成
 - ・理事会費用の節約
 - ・委託事業の公益事業への按分
 - ・会費の公益収入の割合変更
 - ・会費に関わる定款催促の変更検討
- (4) 次年度以降の事務局体制について
 - ・将来的には会費に依存しない法人運営を目指す
 - ・現在の事務局長業務を理学療法士雇用または委託して移行する
 - ・そのうえで事務局には収入増となる企画の検討をおこなう
 - ・財務に関しては川波事務員と小澤税理士事務所が協同していく
- (5) 士会ホームページについて
 - ・スマホ用ページ、PC 用ページのリニューアル作業開始
- (6) 発送トラブルについて
 - ・7 月 1 日発送予定であった原稿が、発送後、郵送物に同封されていないことが確認され、発送業者が折り込みを見落とししていたことが判明、臨時に再送となった。今後、発送前には業者に対して総務部長が事前確認することとなった。

【学術局】

研修部・専門領域研究会 (宇於崎理事)

- (1) 第 1 回生活支援系研究会 65 人参加 アンケート結果 55 名/55 名 満足・やや満足と回答
- (2) 第 2 回生活支援系研究会 9 月 3 日開催 G ネット滋賀

学術誌部 (吉田理事)

- (1) 特別寄稿 3 件依頼中
- (2) 学会長推薦論文 3 件の推薦あり
- (3) 活動助成論文 助成 3 件掲載予定

【社会局】

診療報酬部 (柴田理事)

- (1) 10 月～11 月に意見交換会実施予定

公益事業部 (酒井理事)

- (1) 理学療法週間全国一斉キャンペーンについて
 - ・イベントのマグネットシート広報活動は事業終了し、日理会 HP や士会 HP に活動報告。
- (2) 秋の公益事業活動 (リレーフォーライフ、天津フェスティバル、仕事フェスタ)は 8 月中旬頃に HP、士会ニュースにて案内・募集予定。

災害対策部 (本白水会長)

- (1) 近畿ブロックで災害対策マニュアル作り
- (2) 7 月研修会 約 20 名の参加
- (3) 柴田理事より付帯意見：JRAT 等参加士会員の事故補償等について検討が必要ではないか。

国体支援部 (宇於崎理事)

- (1) 9 月 10 日研修「ウォーミングアップ」
- (2) 滋賀県体育協会と協力して滋賀県独自の制度づくりを検討している。

障がい者スポーツ支援部 (石井理事)

- (1) 滋賀県士会学術集会と共催して「滋賀県の障がい者スポーツの現状」研修会開催
- (2) 平成 36 年度滋賀国体・全国障害者スポーツ大会開催準備委員会委員就任依頼に会長名で応じる。7 月 31 日総会に会長出席。
- (3) 県スポーツ局・県障害者スポーツ協会よ

り、障がい者スポーツ大会の選手発掘協力の打診。

地域包括ケア推進部 (松岡副会長)

- (1) 地域包括ケア推進委員会 6月25日
- (2) POS連絡協議会 7月6日
 - ・実務者レベルでの協議を行う場としてPOSコア会議を立ち上げ
 - ・コア会議メンバー：平岩、森智子、森美穂、岩倉、河島美千代各士会員 OT2名 ST2名
- (3) 甲賀市市民協働事業提案精度について「(シルバーリハビリ)体操指導士育成」を応募予定

各委員会、各会議報告・その他

滋賀県多職種連携学会研究大会 (川崎理事)

- (1) 第2回開催日時 平成30年2月16日(金) 10:00～16:30 栗東文化芸術会館さくら
- (2) 講演：村木厚子(元厚生労働事務次官)等

近畿ブロック会議 (本白水会長)

ブロック学術集会は今後も継続。負担金は500円。1日開催。来年度の奈良は平成31年1月開催予定。

日理協会代議員選挙について (本白水会長)

選挙管理運営委員として小澤滋賀県士会選挙管理委員会委員長を推薦することとなった。

滋賀県士会開催近畿学会進捗状況 (前川学会長)

- (1) 演題は114演題を予定していたが、144題の応募があった。発表できる演題を増やす方向で検討している。
- (2) 託児所を設置することが追加された。

日理協より懲戒処分の報告 (本白水会長)

刑事事件により起訴された士会員に対して、会員権利2年間停止の処分が行われたことの通知があった。

滋賀県在宅医療推進協議会 (松岡副会長)

8月3日「滋賀県における在宅医療推進のための基本方針」の改定に向けて9月に改定案。

○審議事項

第1号議案 提出：川崎理事

議案内容：第2回滋賀県多職種連携学会研究大会の構成団体企画ブースの参加依頼に関して

審議内容・結果：体験型ブース・啓発資材配布・団体の広報・宣伝も兼ねている企画であるが、本土会として、シルバーリハビリ紹介の機会であり担当副会長の松岡理事と協議して参加方向で進めていくことを承認する。

第2号議案 提出：本白水会長

議案内容：ダイハツ工業からの地域に根付いたサービス展開を目指す諸活動に関する相談について

審議内容・結果：日理協より表記について協力打診があった。内容は安全運転につながる健康・身体づくり。協働モデル事業として企画・運営を実施可能な販売店、その市町村、都道府県士会の対応承諾のもと、進めていくことが提案されている。当士会地域包括ケア推進部が窓口として進めていくことが承認された。

第3号議案 提出：本白水会長

議案内容：理事の増員に関して

審議内容・結果：県や各種団体より委員の派遣要請が増加、また、ブロック活動推進に伴いまとめ役としての理事が必要となっているが、現理事数では多忙となっている。理事数を現行8名以上11名以内から、11名以上14名以内に定款変更する必要があることが提案された。理事活動費の増加、事務局強化により現行理事の役割の変化、理事会討議内容の検討等の意見が提出された。定款の変更となれば総会の承認が必要であり、今後、提出意見も加味し検討していくことが承認された。

滋賀県理学療法士会研修体制改定について

(公社) 滋賀県理学療法士会 会長 本白水 博

(公社) 日本理学療法士協会において、専門・認定理学療法士制度や専門領域別学会の推進がなされています。これまで当士会においては、専門・認定理学療法士の登録が少なく、また専門・認定理学療法士の活躍の場や認定取得に向けポイント取得の機会も多くありませんでした。このため、滋賀県理学療法士会における学術活動について理事会などで議論を進めてまいりました。検討の結果、本土会の各部署で開催されていた研修会などを、専門領域別に企画する研修体制へと移行をおこなうことといたします。

各専門領域への参加は本土会員（新人プログラム修了者）であれば自由に参加できることとし、また、勉強会や症例検討なども各専門領域で企画をおこなえることとします。発足当初は理事（もしくは現部長）が代表を務め、各領域の企画などに携わることとなりますが、活動を進めていただく中で理事や部長以外でも代表を務めていただけるよう士会として援助していく方針です。将来的には専門・認定理学療法士が各専門領域の代表などを務め、本会学術活動のリーダーシップがとれる体制を目指します。

まずは運動器理学療法・中枢神経理学療法・内部障害理学療法・生活環境支援理学療法・教育管理理学療法の5つの専門領域を立ち上げることとします。本年度よりこの体制をスタートさせますが、数年間は移行期間とし、各専門領域の活動を本格化できるよう士会としても援助してまいります。各専門領域に関しては士会ホームページに掲載しております。

是非、この機会に自身の学術活動を振り返っていただき、今後ますます理学療法士として活躍していただけることを期待しております。

「障がい者スポーツ支援部だより」

☆今号から、障がい者スポーツに関する話題を定期的に提供していきたいと思います。また掲載してほしい情報がありましたらご連絡ください。

今号は初めてですので、超大盛りになりました。

☆障がい者スポーツ支援部では世話人会の世話人を求めています。内容は会議（年2～3回）参加、事務局業務です。今後の展開によっては業務内容が変更になりますが、お力添えいただける方は下記まで連絡をお願いします。

障がい者スポーツ支援部 事務局 石井 隆 (donburi141@gmail.com)

障がい者スポーツ紹介

★ボッチャ★

ボッチャは、重度脳性麻痺者または同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。ジャックボールと呼ばれる白いボール（目標球）に、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。障害によりボールを投げることができなくても、ランプス（勾配具）を使い、自分の意思を介助者に伝達できれば参加が可能です。日本代表チームは「火ノ玉 JAPAN」の愛称で呼ばれ、リオパラリンピッ



クでは混合団体でボッチャ種目初の銀メダルを獲得しました。今回は、滋賀県ボッチャ協会にインタビューをさせていただきました。

【日本では比較的歴史の浅いアダプテッドスポーツであり、競技人数の少なさ、障害の重さなどから公共の支援は足りていません。滋賀県では大会数・練習場所・道具、全てが不足しています。「やりたい人」は多くいますが「支える人」が足りていません。大会運営では審判の確保もままならない状況です。協会では、運営ボランティアなど「支える人」の確保や参加しやすい環境を整えることが必要と感じています。】

インタビューでは、ハード面ソフト面ともにたくさんの課題を知ることができ、また理学療法士の活躍も期待されていました。現在、滋賀県内で活動しているチームを紹介します。

大津ボッチャクラブ(大津市)・ライトニング滋賀(草津市)・きらら共同作業所(草津市)・野洲ドリームス(野洲市)・ユニスポ守山(守山市)・リュートスター滋賀(長浜市)

各チームを応援・協力していただける方、あるいは、もう少し聞いてみたいことがある方、各団体への問い合わせは、障がい者スポーツ支援部から滋賀県ボッチャ協会を通じて可能です。

滋賀医科大学医学部附属病院 山中雄翔 yuyay@belle.shiga-med.ac.jp

～ 2024 全国障害者スポーツ大会 in 滋賀に向けて～

滋賀医療技術専門学校 安田 孝志

この文章が滋賀県士会の理学療法士を動かし、障がいを有した選手がひとりでも多く参加できる手助けになればと信じています。その先には、日の丸を背負うことになり、世界で活躍する人も生まれるかもしれないし、人生を変える出会いの場になるかもしれません。そして、皆さん(理学療法士)は、紹介する立役者になる人もいれば、アスリートを育てる立役者になるかもしれません。

さて、前置きはこれぐらいにして今回の本題に入ります。今回は、「理学療法士が障がい者スポーツのトレーナーになる」を紹介します。

この度筆者は、滋賀県障害者スポーツ協会から依頼をいただき、愛媛県で開催される第17回全国障がい者スポーツ大会(通称全スポ)に、トレーナーとして参加させていただくことになりました。東京オリンピック・パラリンピックは、とても大きなエネルギーを持っています。その力は、いろいろな場面で感じることができます。またその波は、理学療法士を巻き込み、既に具体的な目標を持ち活動しています。



依頼を受けたトレーナー活動は、その波の一つでもあります。他にも要因があるのです。それは、来る2024年に第24回全国障害者スポーツ大会、第79回国民体育大会が、滋賀県で開催されるということです。

既に、滋賀県理学療法士会は、国体支援部を中心に講習会などが開催され、意識と共に知識・



技術が向上しています。また、スポーツに携わりたいと願っていた理学療法士が、具体的な活動の場を見つけることができ喜んでいきます。

それに対し、障がい者スポーツは、やや出遅れています。障がい者スポーツの環境下で、理学療法士として活躍したいと願っている皆様はもどかしさを感じていると思います。

第17回全国障がい者スポーツ大会 in 愛媛(通称 全スポ)は、2017年10月28日(土)～10月30日(月)3日間の会期で開催され、全国から都道府県・指定都市選手団約5,500人が参加し、個人競技6競技、団体競技7競技の13競技及びオープン競技が実施されます。(※国体は、2017年9月30日(土)～10月10日(火)11日間会期で開催)

正式競技は、陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング、バスケットボール、車椅子バスケットボール、ソフトボール、グラウンドソフトボール、バレーボール、サッカー、フットベースボールの計13競技。

本大会に向け、滋賀県障害者スポーツ協会は、滋賀県代表選手を集結し、数回の強化合宿を開催しています。その中の1回が先日(2017年6月24日(土)～6月25日(日))開催され、同行しました。対象競技は出場が決定している、陸上、フライングディスク、水泳、卓球、アーチェリー、ボウリングの6競技でした。(会場：彦根総合運動場、県立障害者福祉センター、彦根JOY卓球センター、長浜スプリングレーンズ、彦根ラピュタボウル)

トレーナーとしての主な活動目的は、各団体に理学療法士の存在と意義を知っていただくことでした。そのために、練習方法の見学、パフォーマンス分析を行い、選手に結果をフィードバックしました。その際意識をしたのが、必ず監督・コーチにもフィードバック内容を共有するということでした。

監督やコーチの多くは、健常者でした。競技に対する知識と技術は高いが、障がい(個性)との結びつけは、助言を有するレベルでした。それは、監督やコーチも感じておられたようで、理学療法士である筆者の話に耳を傾けていただくことができたと思います。

この度、滋賀県の障がい者スポーツに携わらせていただき感じたのは、ケガや故障に対するケアよりも、障がいという個性を理解している理学療法士だからこそ、パフォーマンスの向上につながる分析ができ、コーチや監督に結果を報告できるということです。

この度の対象競技は、上述した6競技でした。筆者は、水泳以外趣味で行ったことがある程度で、競技特性(身体の使い方、練習方法、ケガの特性、遠征時の諸注意、心構え等)の理解は素人です。このような私が、第17回全スポ in 愛媛にトレーナーとして帯同します。不安ばかりがのしかかってきます。

滋賀県士会の皆さん。競技の知識の有無は問いません。一緒に All SHIGA をサポートしてください。理学療法士として障がい者スポーツに携わる一歩を踏み出せました。ここからの速度変化には、皆さんの力が必要です。

次回は、全スポ帯同記を紹介したいと思います。波乱に満ちた報告にならないことを祈っています。

第7回写真コンテスト結果発表！

厚生部にて企画しました第7回写真コンテスト（作品テーマ：“自由テーマ”）には、合計24作品のご応募がありました。ご応募いただいた会員の皆様、ありがとうございました。
ご応募いただいた作品は、去る7月9日の滋賀県理学療法学会学術集会会場（野洲文化小劇場）にて展示し、会員による投票を行いました。結果は以下の通りです。



★グランプリ★



題名：「繋ぐ」

南草津病院 川勝昭郎さん

★準グランプリ★



題名：青い衝撃

滋賀医療技術専門学校 宇於崎孝さん



★士会長賞★



題名：『つくしの背くらべ』

大津市社会福祉事業団 並河孝さん

★厚生部長賞★



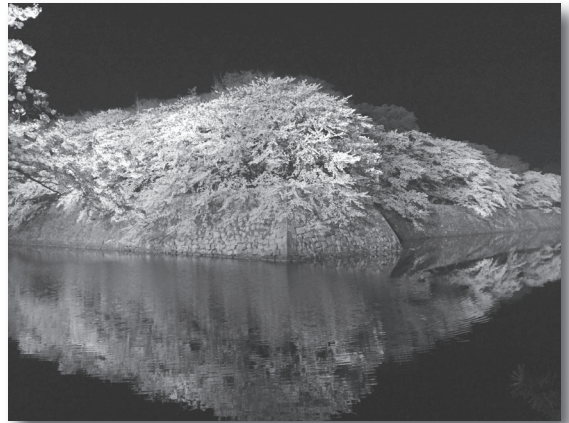
題名：スーパームーン

水谷整形外科医院 山口晃司さん

★優秀賞★



題名：雄大豪壮～私はあなただけを見つめる～
市立長浜病院 清水悠さん



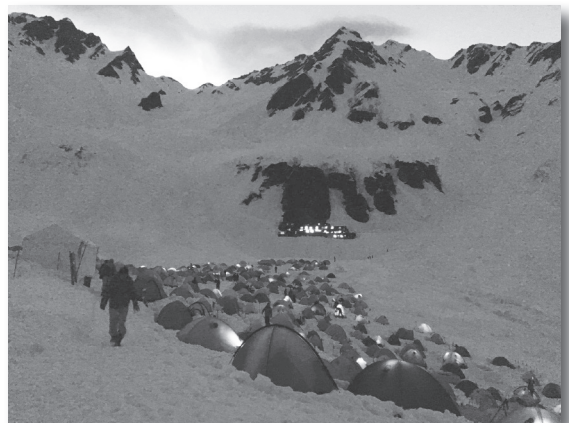
題名：水面に映る彦根の夜桜
滋賀医療技術専門学校 宇於崎孝さん



題名：寝顔
豊郷病院 吉田環さん



題名：琵琶湖大橋と三上山
滋賀医療技術専門学校 分木ひとみさん



題名：雪山の厳しさ
生田病院 一川祥子さん

入賞されました方々には副賞を、残念ながら入賞を逃された方々には参加賞をお送りさせていただきます。

今後も厚生部では、会員の皆様からの厚生事業を募集しております。企画を温めておられる方々は是非ご応募・お問い合わせください。

東近江市蒲生医療センター リハビリテーション科 奥田
TEL：0748-55-1175

こんな本

読みました!



金沢整形外科クリニック
中田 康平

【題名】
世界のエリートがやっている最高の休息法

【著者名】
久賀谷 亮

【出版社】
ダイヤモンド社

本書は今話題の「マインドフルネス」を題材にした一冊です。米イェール大学にて最先端の脳科学を学んでいる主人公のナツ（小川 夏帆）は実家がお寺であるにも関わらず、座禅や瞑想といった非科学的なものに対して、嫌悪感を抱いていた。日々、研究所という競争社会で生活している内に彼女はパニック発作を患ってしまった。そこで、米イェール大学・精神科学部に助けを求めた。そこで出会ったのは、ナツの嫌悪する瞑想を研究し続けるヨーダ（ラルフ・グローブ）だった。彼女はヨーダの言葉に聞く耳を持たなかったが、次第に科学的に証明された瞑想（マインドフルネス）の効果を実感していく。本書はフィクション作品ではありますが、私に睡眠以外の休息の方法を教えてくださいました。また、このマインドフルネスは「感覚を感じることで考えるのをやめる」というもので、この感覚を感じるということは、私が大好きな運動学習に深く関与する内容です。そのため、本書は私に最高の休息を示してくれただけでなく、運動療法の精度を上げるためのエッセンスをくれた一冊です。



こんな本

読みました!



大津市社会福祉事業団
並河 孝

【題名】
欧米人とはこんなに違った日本人の『体質』

【著者名】
奥田昌子

【出版社】
講談社

健康情報があふれている現在、正しいものを見分ける知識が大切となっています。この本がその問題を解決してくれる一助となるものと興味深く読ませて頂いた。まず最初に3つの質問項目があり、その中の一つを紹介すると『骨を強くするために牛乳や乳製品をつとめて摂取している』これは正しいのか？

答えは間違いで効果は期待できないとのこと。骨粗鬆症はカルシウム不足だけが原因ではなく、ビタミンD・女性ホルモン・骨の合成・動脈硬化に関する数多くの遺伝的要因が大きく関連していると語っています。つまり体質に大きく影響されるのです。体質とは何者でしょうか。体質は一生変わらないものと思われていることがありますが、そうではなく遺伝的要因と環境要因が相互作用によって形成されるといわれています。日本人のカルシウム摂取量は米国人の半分ですが、骨粗鬆症の発症率は米国人のほうが2倍も高いのです。米国・ニュージーランド等の国々の調査では、カルシウムの摂取量の多い人ほど大腿骨頸部骨折を起こす人の割合が多いという結果が出て、国や人種によって大きな違いがあることがわかってきました。『カルシウム・パラドックス』と世界を驚かしたようです。さらに2015年に公表された46の海外論文の総合的分析では、食事からのカルシウム摂取量と骨折の発生率には関連がないと結論づけています。著者は『体質を知れば常識が変わる』と述べ、日本人にはこんな健康法は意味がないと多くの示唆を与えてくれる。その他、糖尿病・高血圧・脂質異常・動脈硬化・がん予防まで幅広い分野まで書かれている。ちなみに著者は内科の医師です。是非ご一読ください。



POS 湖南ブロック主催 地域ケア会議推進研修会 今地域に求められているリハビリテーションの専門性

現在、総合事業や地域ケア会議などの新たな地域づくりの取り組みが推進され、リハビリテーション専門職にもその点への参画が強く期待されるようになりました。

総合事業 / 地域ケア会議の本質は「他職種協働の地域づくり」とも言われています。リハビリテーション専門職として、自分にできる事「対象者の暮らしが広がる街づくり」や「そのための取り組み」を一緒に考えてみませんか？

今回は2日間で「これからのリハビリテーションに求められている事」そして「自立支援と地域づくり」についてお話頂きます。分野を問わず活用いただける研修会となっております、ごぞってご参加下さい。

講師：鎌田 大啓氏
(株式会社 TRAPE 代表取締役 作業療法士)



プロフィール：大阪府寝屋川市にて『ヒトを創り、地域の未来を創る』を理念に株式会社 TRAPE を運営。行政機関や介護事業所のアドバイザーとして、自律（立）支援の視点から地域づくりを実践されている。現在も、大阪府自律支援型地域ケア会議モデル事業アドバイザー、寝屋川市総合事業アドバイザー、豊中市介護予防ケアマネジメント強化アドバイザー 他など多岐にわたって活動中。

【DAY1】

テーマ：「地域包括ケアに求められているリハビリテーションの専門性」

日時：平成 29 年 10 月 20 日（金） 18：30～20：15 受付 8：10～

会場：フェリエ南草津 5 階 市民交流プラザ中会議室

終了後に南草津駅周辺で懇親会を予定しています（4～5000 円程度）

【DAY2】

テーマ：「自立支援を通してすすめる地域づくり～地域ケア会議の視点から～」

日時：平成 29 年 11 月 19 日（日） 9：45～12：30 受付 9：20～

会場：栗東市ウイングプラザ 4 階 研修室 E

対象者：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・関連職種・一般の方

参加料：無料

備考：士会指定事業対象（地域包括ケア・介護予防推進リーダー取得要件）

お申し込み方法：下記メールアドレスまで E-MAIL にて、事前にお申し込みください。

件名に「POS 湖南ブロック研修会」と入れ、①氏名（ふりがな）②所属 ③職種 ④経歴年数
⑤連絡先 ⑥参加日 ⑦懇親会参加の有無を明記して下さい。

申し込み先：滋賀県 POS 湖南ブロック 事務局

konan.pos.kensyu@gmail.com

申込期限 【DAY 1】10 月 13 日（金）まで 【DAY 2】11 月 12 日（日）まで

主催：滋賀県理学療法士会 滋賀県作業療法士会 滋賀県言語聴覚士会



【DAY 1】フェリエ南草津

（住所：草津市野路 1-15-5）

市営駐車場 車 4 時間無料 / 自転車 1 日無料



【DAY 2】栗東市ウイングプラザ

（住所：栗東市巻 2-4-5）

ウイングプラザ駐車場 4 時間まで無料

第2回 滋賀県神経理学療法研究会研修会

テーマ 中枢神経疾患後遺症者の歩行に対する評価と治療

日時 平成29年10月29日(日) 10:00～16:00 (9:30受付開始)

講師 段上 靖治 南草津病院 リハビリテーション部課長代理
土井鋭二郎 南草津病院 リハビリテーション部部长

対象 理学療法士および関連職種

定員 20名(先着順)

講師の意向と会場の問題上、先着順とさせていただきます。ご了承ください。

会場 南草津病院 リハビリ室・会議室(草津市野路5-2-39)

研修会費 滋賀県理学療法士会員：無料 その他：1000円

申し込み

下記事項を記入にてメールで申し込みください。(sigaptyuusuu@yahoo.co.jp)

申し込み期間は、2017年10月2日～10月13日として、先着順とさせていただきます。

【メール申し込み記載事項】

件名に「定例研修会第2回 滋賀県神経理学療法研究会 申し込み」と記載をお願い致します。

1 会員番号 2 勤務先名称/職種名 3 氏名(フリガナ) 4 連絡先電話番号 5 メールアドレス
6 経年数 7 所属士会

備考 都道府県士会主催の講習会・研修会履修ポイントのポイント認証を申請中です。

主催 滋賀県理学療法士会神経理学療法研究会
担当：山口卓也

第1回 滋賀県運動器理学療法研究会研修会

テーマ 『組織修復のための理学療法』

講師 尾崎 純(清泉クリニック整形外科 静岡)

日時 2017年11月5日(日) 10時～15時(9時30分より受付)

会場 ピアザ淡海 会議室(滋賀県大津市におの浜1-1-20)

備考 都道府県士会主催の講習会・研修会の履修ポイントの10ポイントが付与されます。また、専門・認定理学療法士制度のポイント認証を申請中。

参加費 県士会員・学生…無料、他士会・多職種等…1,000円

申込 2017年9月18日(日)～10月28日(土) 必着

申込期間内に下記のe-mailアドレスまでメールにてお申し込み下さい。県士会員の方は、氏名・所属・TELを必ずご明記の上お申し込み下さい。他士会員・他職種・学生の方は、氏名(フリガナ)・職種・所属・TELを必ずご明記の上お申し込み下さい。

なお、件名には必ず「定例研修会第1回申し込み」とご明記下さい。件名に入力が無い場合には迷惑メールと判断がしにくくなり、申し込みを見落としてしまう可能性がありますのでご協力下さい。

e-mail: shigaundouki@gmail.com

運動器理学療法研究会 石崎 裕也 宛

第4回新人研修会

日程変更のお知らせ

第4回新人研修会は、12月10日(日)の開催とお知らせしておりましたが、12月3日に変更となりました。ご周知のほどよろしくお願い致します。

日 時 2017年12月3日(日)

会 場 ピアザ淡海会議室 207会議室

研修内容 9:40～10:40 B-2 クリニカルリーズニング
10:50～11:50 E-1 臨床実習指導方法論

申込期間 2017年11月12日(日)～11月26日(日)

申込方法 日本理学療法士会ホームページマイページからお申し込みください。なお、研修会では資料を配布しませんので、各自マイページからダウンロードしご持参いただきますようよろしくお願いいたします。

新人研修会に関する不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

生涯学習部 川崎 浩子 E-mail h-kawasaki@pt-si.aino.ac.jp

第1回 滋賀県内部障害系理学療法研究会

『重複障害のリハビリテーション』

日 時：平成30年2月4日(日) 10:00～(受付 9:30～)

会 場：滋賀医科大学医学部附属病院 別館2階 大会議室

参加費：県士会員・学生 無料 県士会外・会員外(OT、ST等)1000円

研修内容

9:30～受付

10:00～11:30

『心肺機能を理解しリハビリテーションに生かす』

岩井 宏治 (滋賀医科大学医学部附属病院 リハビリテーション部 主任)

11:40～12:40

『一次救命と基本処置』

小越 優子 (滋賀医科大学医学部附属病院 救命看護認定看護師)

13:40～15:40

『心腎連関を理解しリハビリテーションに生かす』

神谷 健太郎 (北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科 講師)

参加申込

下記の必要事項を明記の上、メールにてお申し込みください。

rehabili@yasu-hp.jp@nospam

※お手数ですが、@nospamを削除の上、送信してください。

①氏名 ②所属(所属士会、所属病院) ③職種 ④TEL

申込受付期間：平成 30 年 1 月 14 日（日）迄

件名には必ず『内部障害研修会申し込み』とご明記ください。件名に入力がない場合には、迷惑メールと判断がしにくくなり、申し込みを見落とす可能性があります。また受講申し込みが確認されましたらその旨をメールにて返信致しますが、メールのブロックにより返信できない場合があります。受講申し込みの前には必ず受信許可をご確認ください。返信がない場合は受講申し込みができていない可能性があります。下記担当者までお問い合わせください。

問い合わせ先：野洲病院 リハビリテーション課 中井、神田（077-587-1332）

第 33 回滋賀県理学療法学会のご案内

【テーマ】 データで開く理学療法の未来

【日 時】 平成 30 年 7 月 8 日（日）

【場 所】 ひこね燦パレス 多目的ホール 滋賀県彦根市小泉町 648-3

【演題募集要項】

[1] 今大会の演題発表概要

口述発表、ポスター発表形式で行います。

[2] 発表時間

口述発表、ポスター発表：1 演題につき 10 分

（発表時間 7 分、質疑時間 3 分）

[3] 応募資格

筆頭演者は、公益社団法人 滋賀県理学療法士会会員に限ります。

[4] 応募方法

抄録の投稿をもって受付と致します。

応募先 E-mail アドレス

reha@municipal-hp.hikone.shiga.jp

[5] 応募期限

平成 30 年 3 月 9 日（金）17 時まで

[6] 応募上の注意

演題は、未発表のものに限ります。応募された演題（抄録）と当日の発表内容が大幅に変わることを無いようお願い致します。ヘルシンキ宣言に沿った研究であることをご確認ください。

[7] 演題審査及び決定通知

演題の採択は、本学会大会準備委員が定めた演題審査員（査読者）による審査結果を参考に大会長が決定し、発表形式についても事務局の判断で通知致します。平成 30 年 4 月末日までに応募者のメールアドレス宛に通知致します。

[8] 抄録の作成

抄録集の事前配布を予定しています。『演者名』『所属』『キーワード(3つ)』『本文』の順で Windows 版 Microsoft Word にて作成し、電子メールに添付してください。様式は縦 A4 用紙に横書きにて、一行の文字数は 26 文字以内、行数は 50 行以下とし、印字範囲が横 8.5cm、縦 25.0cm の長方形におさまるようにしてください。

文字の大きさ等については、演題名は MS ゴシック体 12 ポイント、その他の文字は MS 明朝体 10.5 ポイントに設定してください。

本文には【目的】、【方法】、【説明と同意】、【結果】、【考察】、【まとめ】、などの小見出しを付け文字数は全角換算で 1,000 文字以内としてください。

機種依存文字、外字は使用しないでください。図表は抄録に含めないでください。

抄録中に倫理規定に関する記述がない場合には登録できませんので、注意してください。

[9] 公益社団法人 滋賀県理学療法士会誌への掲載

公益社団法人 滋賀県理学療法士会誌への掲載・投稿を推薦する場合があります。

[10] 発表演題申し込みに関する問い合わせ、および抄録の問い合わせ先

彦根市立病院 リハビリテーション科 林 延幸

Tel 0749-22-6050



会長行動録

平成 29 年

5 月 27 日 (土) 協会モデル事業ヒアリング

5 月 27 日 (土) 定時総会

6 月 3 日 (土) 協会総会・協会賞授賞式・親睦会 (東京)

6 月 4 日 (日) 協会総会 (東京)

6 月 8 日 (木) 理事会

6 月 10 日 (土) 近畿ブロック会議

6 月 18 日 (日) 新人教育プログラム講師

6 月 18 日 (日) 新人歓迎会

6 月 25 日 (日) 地域包括ケア推進会議

7 月 8 日 (土) 災害対策研修会 あいさつ

7 月 9 日 (日) 滋賀県理学療法学会学術集会

7 月 9 日 (日) 執行理事会

7 月 21 日 (金) POS 連絡協議会

7 月 26 日 (火) リハビリテーション協議会

7 月 31 日 (月) 国体開催委員会総会

8 月 5 日 (土) 近畿ブロック会議

8 月 10 日 (木) 理事会

8 月 23 日 (水) ダイハツ担当者との打ち合わせ

8 月 23 日 (水) 近畿学会準備委員会

8 月 24 日 (木) 医療審議会

滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

✓ 事務局

ptshiga@ares.eonet.ne.jp 担当： 本白水

✓ 入会、異動、休会

異動届は協会ホームページ（マイページ）上から行うことになっています。

<http://www.japanpt.or.jp/>

✓ 財務関係 公文書発送

info@shiga-pt.or.jp 担当：滋賀医大 平岩 TEL/FAX 077-548-2670

✓ 発送物関係 総務部

reha@otsujrc.or.jp 担当：大津赤十字病院 リハビリテーション科 奥田

折り込み発送物等あれば、毎月 25 日までにお申し出ください。折り込み発送物の発送先の発送範囲についてもお知らせください（会員のみ、関連団体込など）。各部の事業の配布物に関しても発送に関しては総務部にご相談ください。

✓ ホームページ原稿受付

担当：kojin@belle.shiga-med.ac.jp 担当：滋賀医大 岩井

ホームページ <http://www.shiga-pt.or.jp>

✓ 士会ニュース原稿受付 広報部

shigaptnews@yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院 山添

✓ 研修関係 研修部

ptshigakensyuukai@yahoo.co.jp 担当：小児保健医療センター 清岡

✓ 介護保険部

ptkaigohokennbu@yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院訪問リハビリテーション事業所 深江

電話 /FAX は 0748-62-3081

✓ 診療報酬部

rehabii@yasu-hp.jp 担当：野洲病院 辻村

TEL : 077-587-1332 FAX : 077-587-5004

✓ 生涯学習関係 生涯学習管理部

m-ikeya@pt-si.aino.ac.jp 担当：滋賀医療技術専門学校 池谷

TEL 0749-46-2322

✓ 厚生事業関係 厚生部

ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp 担当：東近江市蒲生医療センター 奥田

事務局 だより

○会員数 1014 名 うち新入会手続き中 18 名
○賛助会員 5 社
連絡不能者が 18 名おられます。

会員異動について

会員異動の手続きができていないことでトラブルが増えています。

所属施設の変更、県内外への異動、姓の変更、自宅住所の変更などがありましたら必ず、マイページからお手続きください。紙申請は平成 25 年 12 月で廃止されました。

ユーザー名やパスワードをお忘れの場合は「ID・パスワード」再発行申請書を協会に送付して再発行していただく必要がありますのでご注意ください。申請書は協会ホームページの異動・休会・復会等の手続きのページからダウンロードできます。

異動手続きを怠りますと協会や士会からの発送物をお届けできないばかりか、転居後新しい住民の方にご迷惑をおかけしますのご協力お願いいたします。

施設名の変更がありましたら、所属施設の責任者の方のマイページから修正が出来ます。出来ない場合は平岩までお知らせください。

発送物は昨年度から会員区分が施設の方は所属施設の方へ発送することになりました（PT 協会からの発送物を除く）。

県内の病院、施設等にお勤めの方は、必ず所属施設をマイページで登録しておいてください。

日本理学療法士協会ホームページ

<http://www.japanpt.or.jp/>

会費未納の方へ

会費の未納の方は速やかにご入金ください。

2 年以上未納になりますと、自動退会となりますのでご注意ください。

一旦退会となりますと、新プロもリセットされ、これまでためられたポイントも無効になります。協会の損害賠償保険も継続できなくなりますのでご注意ください。

お知らせ（納入期限変更）

日本理学療法士協会では、年会費の納入期限変更が理事会で承認されました。（定款細則Ⅱ-4）

以下のように変更になります。

これまで 当該年度の 6 月末日 2017 年 7 月 1 日

以降 前年度の 3 月末日※当年度入会者を除く

会費納入期限 2018 年 3 月 31 日

「楽天カード」「口座振替」の決済日

2018 年 3 月 27 日

以下に該当される方はご注意ください。

年度末（3 月末頃）でご勤務先や自宅住所が県外に異動となる方

新しい居住先やご勤務先が決定次第、お早めに「異動申請」をお願いします。

1 月 1 日～2 月 20 日までに申請された場合

→「異動先」の所属都道府県士会年会費を請求いたします。

2 月 21 日以降に異動申請された場合

→4 月 3 日付で会員データが更新されます。

→会費は「異動前」の所属都道府県士会年会費を請求いたします。

休会または退会をご希望の方

1 月 1 日～2 月 20 日までに申請された場合

→年会費の請求はありません。

2 月 21 日以降に申請された場合

→登録口座・クレジットカード会社への請求が行われる場合がございますが、4 月 1 日までに「休会・退会申請」をお済ませいただいた場合、後日返金処理をいたします。

4 月 2 日以降に休会・退会申請をされた場合

→年会費が請求され、返金は出来ません。

現在、決済方法が「現金振込」の方

お早めに「楽天カード」または「口座振替」へ変更のお手続きをお願いします。

詳しくは日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

日本理学療法士協会ホームページ

<http://www.japanpt.or.jp/>

会員異動、会費関係問い合わせ先

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部

平岩康之 宛

問い合わせ info@shiga-pt.or.jp

編集後記

実りの秋となりました。皆様お元気でしょうか。
この時期は研修会がたくさんありますので、積極的に参加して下さい。
季節の変わり目でもありますので、体調に気を付けましょう。



滋賀医療技術専門学校

SHIGA SCHOOL OF MEDICAL TECHNOLOGY

リハビリテーション医学を学ぼう！



理学療法学科・作業療法学科ともに最短資格取得の3年制

学費は3年間で300万円

滋賀県で唯一のリハビリテーションのプロを養成する学校

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967
学校法人 藍野学院
滋賀医療技術専門学校

TEL :0749-46-2311/FAX:0749-46-2313
E-mail:shiga@aino.ac.jp
<http://shiga.aino.ac.jp/>